

第八回 帯留 コンテスト

帯留は帯の中心に帯締めで固定される装飾品です。古くは江戸時代から精緻な細工や美しいデザインのもので作られてきました。欧米と比べて装飾品をつける事が少ない日本の服飾品のなかで、櫛・かんざしと並ぶ貴重な装飾品でした。昨今、着物文化の衰退とともに、帯留の伝統もすたれようとしています。

日本の誇るアクセサリ・帯留を見直していただき、新しいデザインを発掘すること目的として、学生の方を対象に帯留コンテストを開催いたします。

このコンテストは京都府の助成金事業として2011年より始まったものです。今まで多くの美術系大学・専門学校の方々に素晴らしい作品を応募していただいております。新しい感性による作品をお待ちしております。 NPO 法人京都古布保存会

学科・クラスでまとめてご応募をお考えの大学・専門学校・高校様へ

このコンテストも本年度で8回目となりました。学科・クラスの課題制作として帯留コンテストにご応募される、大学・専門学校が増えております。

その場合、ご担当教官の方に下記の点をお守りいただきますようお願いいたします。

- 1 作品は一括で応募の締切りまでに作品をご送付ください。
- 2 学生の在学照明または学生証コピーを必ず添付してください。
- 3 発送の前に、ご担当者様より、本法人事務所へご連絡一括ご送付の旨、お知らせください。

募集要項

- 応募資格
- ・大学・大学院に在学中の学生
 - ・高校に在学中の学生
 - ・その他、工房や研究所で研修中の方で、入所・就職から5年以内の方
- 申込方法
- ・応募用紙裏面の出展申し込み用紙に記載の上、応募作品とともに送付してください。
 - ・応募の際、応募資格のあることを証明するもの（在学証明書・卒業証明書・学生証・在職証明書のコピーなど）を添付してください。
- 応募期間
- ・2018年11月2日（金）～9日（金） 当日消印有効
（審査：11月15日（木） 展示期間：11月23日（金）～30日（金））
- 審査基準
- ・デザインの内容を問わず、帯留としてデザインの優れているものを最優秀賞とします。
 - ・また京都らしいデザインで、内容の優れているものを京都賞とします。
- 審査員
- 青木美保子（京都女子大学准教授）
小筆風外（書道家）
福井安紀（造形作家） 【敬称略】
- 審査結果発表 2018年11月16日（金） NPO 法人京都古布保存会サイトにて発表
<http://www.kyoto-tsubomi.sakura.ne.jp/index.html>

賞金 最優秀賞・2万円 京都賞・2万円 審査員賞・数点 高校生特別賞・図書カード

- 出品規定
- 1 未発表・未発売の作品に限ります。
 - 2 作品の素材は問いませんが、帯留として使用に耐えるものに限ります。
 - 3 大きさ 3 x 4 cm以上・6 x 8 cm以内（縦長でも横長でも可）。
 - ・背面に帯締めを通す場所もしくは留め金をつけること。
 - ・背面は帯に沿うよう平面であること。
 - 4 着装が不可能なもの・帯留として使用に適さないものは不可です。
（とがった部分が多いなど着装に危険であるもの）
（時間経過とともに変質・破損の可能性があるもの）
 - 5 作品の点数は一人2点までとします。
- 応募費用
- ・応募にかかる費用は無料です。作品の送付にかかる費用及び、販売・入札が行われなかった場合の着払い費用のみご負担ください。

帯留展とオークションについて

- ・入選作品は保存会主催の「帯留展」で展示いたします。
- ・販売を希望の方の作品は、展示期間中に来場者に入札をしていただきます。
（展示終了後、最高価格の方を落札者として、その方に販売させていただきます。）
- ・入選しても販売を希望されない方は、お申し込み時にその旨お知らせください。
- ・入札が入り、作品が販売された場合、販売代金の30%を手数料として申し受けさせていただきます。
（販売代金の70%を保存会より、ご指定のゆうちょ口座にお振込みさせていただきます。）
（銀行及び信用金庫へのお振込みをご希望の方は、お支払い金額から振込手数料を差し引いた額をお振込みさせていただきます。）